

その他次世代育成支援対策

※この調査は平成27年6月1日現在の状況です。

市町村	21 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	22 市町村が独自に取り組んでいる施策
福島市	1.心理士による個別相談(1歳6か月児健診時、3歳6か月児健診時) 2.妊婦やその家族、これから妊娠しようとする方々を対象に「福島で生み育てるために」講演会 3.屋内遊び場(おもちゃ広場)の開設 4.屋内遊び場(さんどパーク)の開設	
会津若松市	○子どもを含めて内部被ばく検査を実施 ○給食食材放射線量測定業務委託事業 学校・保育所の給食における児童生徒の食の安全・安心確保や保護者の不安払拭のために給食食材の放射性物質の検査を実施。 ○被災児童生徒等就学支援事業 被災した幼児・児童生徒に対し就園支援、就学支援を行い、保護者の負担軽減を図る。	○福島県育児・介護休業者生活資金貸付制度を利用した勤労者に対し利子相当額(遅延利息を除く)を交付する。 ○休日緊急医情報メール配信 ○ホームスタート事業 ○就学遠征奨励金の支給
郡山市	・のびのびちびっこ広場in夏出:旧河内小学校夏出分校の体育館を利用して、子どもたちがおもいきり遊べる空間を確保している。 ・公共施設無料開放:平日の日中に市内の保育所等に体育館を無料で開放する。 ・保育元気アップ緊急支援事業:未就学児が外遊びで自然と触れ合う機会や運動量を増やすために、バスで県外(県内でも可)へ遊びに行く事業を行うことにより、児童の健全な育成を図る。 ・保育所等給食放射性物質測定事業:保育所等に放射性物質検査機器を整備し、給食提供前に市の基準(10ベクレル未満)に基づき検査を実施して、保育所児童の内部被ばく防止と保護者の不安解消に努める。	・赤ちゃんニコニコステーション事業:授乳やおむつ替えの設備を有する公共・民間施設等を「赤ちゃんニコニコステーション」として登録し、登録済みステッカーの配布やウェブサイト、子育て支援冊子への掲載により広く周知し、乳幼児を持つ家庭が気軽に外出できる環境の整備を進めている。
いわき市	○屋内遊び場管理運営事業 屋外での遊びに不安を持つ保護者とその子ども達が、安心して遊べる場の確保と、子ども達が天候に左右されずに、のびのびと安心して遊べる場の提供を目的として、市内3か所に屋内遊び場を整備して管理運営を行う。 ○保育サポート事業 保育所を訪問し、震災によって心理的に不安となっている児童について、経過観察し、必要に応じて専門機関への橋渡し等のコーディネートを行う。 ○公立保育所開放事業 各地区の公立保育所の遊戯室等を週1回開放し、子育て親子が安心して遊べる場所を提供する。	○赤ちゃんの駅事業 乳幼児連れの保護者が、授乳やおむつ替え等のために気軽に立ち寄ることのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録するとともに、利用マップや表示用のタペストリー等を提供することにより広く周知を図り、乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境づくりを進める。
白河市	徳島大学と放射線に関する協定を締結し、徳島大学の協力を活用して、放射線専門家による放射線教育と健康教育。(市内保育園、幼稚園)	・「すこやか相談会」保育園、幼稚園の4歳児を対象に、保護者の子育てに関する相談会を実施。相談会終了後も必要に応じて、「フォローアップ相談」を実施する。 ・「子育て応援商品券」15歳以下の子ども一人につき5,000円分の商品券を配布する。 ・「子育て支援アプリ活用事業」スマートフォン用の子育て支援アプリを開発構築し、子育て支援の情報を提供する。
須賀川市	屋内遊び場確保事業 NPO法人ハートフルハート未来を育む会主催「親子ふれあい教室」への協力	
喜多方市	保育所等給食食材放射線測定	・ホームスタート事業 ・ブックスタート事業
相馬市	・屋内遊び場運営事業 ・給食食材放射線量測定業務委託事業 ・ガラスバッジによる外部被ばく測定事業 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定事業	
二本松市	・屋内遊び場運営事業 ・幼稚園、保育園等給食食材放射線測定 ・放射線外部積算線量測定 ・放射線内部被ばく量測定 ・放射線学習会 ・放射線教育講話(保育所・幼稚園・小中学校)	・ブックスタート事業 ・小中学校遠距離通学費助成 ・高等学校遠距離通学費助成 ・特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者への手当支給 ・特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者への通学費の助成 ・出産時交通費助成事業(H27年度から) ・元気な児童生徒育成支援事業(H27年度から)
田村市	平成23年3月11日に田村市郡路町に住所を有する保護者で、市内保育所・こども園の保育料を無料(0歳児、1歳児、2歳児)	3月31日現在満3歳から満5歳までの児童を在宅で養育する保護者に対し、月額5,000円の子育て支援奨励金を支給
南相馬市	・市外避難をしている生後2か月までの母子に電話相談を実施。 ・乳幼児健診の時期に、避難先での受診の勧奨及び生活状況等のアンケートを郵送し、返信用封筒を同封することで、そのアンケートの回収をしている。アンケートに育児不安や相談したい項目の記載がある場合は、電話相談を実施している。	母子健康推進員の養成講座を実施(フォローアップを含め全12回)。養成講座参加者が講座修了後、母子愛育会を結成しており、会独自で自主的に育児支援の自主活動を展開している。
伊達市	・子どもフレッシュ事業 放射線の不安の少ない地域で子どもたちがのびのびと活動する機会として、サマーキャンプ等を実施。 ・親子遊びの教室 ・健診時の心理相談の充実と遊びの指導	・子育て相談センター 子育て支援センターがない地域に「子育て相談センター」として週1~2程度、広場開放や相談受付を実施。
本宮市	・屋内遊び場(すまいるキッズパーク)の開設 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ・ガラスバッジによる外部被ばく測定 ・給食食材放射線量測定	・子育て応援商品券配付事業(平成27年度のみ) ・児童扶養手当現況届提出期間中2回、ひとり親を対象にハローワーク職員による就職相談を実施 ・市役所職員に対し、子育て休暇を1年あたり7日間設定。また、水曜日を定時退庁日と定め、庁内LANで毎週周知している。 ・ファミリーサポートセンター事業 ・つどいの広場事業…小学生未満の子どもたちの屋内遊び場の開設
桑折町	①ガラスバッジによる外部被ばく測定 ②ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ③保育所・児童館や幼稚園、小中学校、各公民館、仮置き場等の放射線測定値を広報誌や町ホームページに掲載し、情報を提供している。 ④検査機器を購入して、保育所や幼稚園、小中学校の給食食材・全量の放射線濃度測定を行っている。また、町民も希望すれば食品を検査できる体制を整えている。	
国見町	・屋内遊び場設置運営事業 ・外部被ばく、内部被ばく測定	・就学遠征奨励金の支給 ・幼稚園通園費助成

市町村	21 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	22 市町村が独自に取り組んでいる施策
川俣町	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、小学校児童を対象に線量の低い地域へのバスハイキングの実施 ・ガラスパッチによる小学生以下児童の積算線量の測定 ・屋内遊び場の設置運営 ・食育、食材モニタリングとホームページへの掲載 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく検査 	<p>小学校、中学校入学時に入学祝金5万円の支給。</p>
大玉村		
鏡石町	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスパッチによる外部被ばく測定 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ・学校、保育所等の給食食材の放射性物質検査 ・のびのび健康相談(心理士による個別相談)の開催 	
天栄村	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内遊び場(わんぱく広場)の開設 ・内部被ばく検査、外部被ばく積算線量測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイルドシート購入補助 ・幼稚園入園料授業料の無料化 ・幼稚園の3年保育 ・へき地保育所保育料の無料化 ・多子世帯保育料の軽減 ・フッ素塗布事業(1歳～3歳まで) ・歯科検診(保育所～中学校卒業まで) ・離乳食教室
下郷町		
檜枝岐村		<ul style="list-style-type: none"> ○学資手当 16歳～22歳までの就学生1人につき、月額5,000円の学資手当を支給している。(類似の手当受給者は除く) ○妊婦通院費補助金 妊婦1人につき、通院にかかる経費の補助金として50,000円支給している。
只見町		○チャイルドシート購入補助
南会津町		未就学児を対象に「こどもまつり」を開催
北塩原村	<p>保育環境改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原発事故の影響で野外活動減による運動不足等の傾向解消を図るための環境の整備 	
西会津町		
磐梯町	<ul style="list-style-type: none"> ○給食食材放射線量測定業務 学校・保育所の給食における児童生徒の食の安全・安心確保や保護者の不安払拭のために給食食材の放射性物質の検査を実施。又、食材の産地名を掲示。 	体調不良児支援事業
猪苗代町		【ちびっこランド】開催日：月1回 前期(5月から9月)・後期(10月から2月)対象：町内在住の2歳から4歳までの子どもと保護者20組 ※一度参加したことがある方は除きます。
会津坂下町		<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 ・おむつ専用ごみ袋支給事業(満2歳未満の乳幼児の保護者へ2ヶ月10枚、最高120枚支給) ・ホームスタート事業 ・養育支援訪問事業
湯川村		小学校入学祝金50,000円
柳津町		チャイルドシート購入費補助
三島町		公民館事業で子育て支援グループ「ワンダークラブ」を設置し、乳幼児、保育所入所前の子どもとその保護者が集まり、母親同士が子ども同士が定期的集まって、情報交換や交流の場を提供している。隔月で、保健師が参加し相談業務なども行っている。
金山町		
昭和村		地域の子ども会活動に対して助成金を出している。
会津美里町		
西郷村		
泉崎村	中学生までの積算線量検査及び内部被ばく検査。	
中島村		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保育料、保育所保育料、預かり保育料、給食費の無料化(対象条件有) ・幼児教室(ちびっこランド)開催 年10回(村在住 1歳6ヶ月から幼稚園入園前までの子どもと保護者) ・保健センター開放 月2回
矢吹町		乳幼児健診に臨床心理士が心理相談員として配置している
棚倉町		
矢祭町		<ul style="list-style-type: none"> ・矢祭町高校生奨学助成金制度 ・幼稚園・小中学校給食費の軽減 ・中学生の海外修学旅行への補助事業 ・高田基金による教育支援事業(表彰制度) ・ " (奨学助成制度)
塙町		
鮫川村		
石川町		
玉川村	屋内遊び場設置	ひとり親または両親がいない子ども(小学1年生から高校3年生までの子ども)1人に対し、年額5,000円を「ほほえみふくし年金」として支給。 支給基準日：4月10日
平田村		
浅川町		
古殿町		

市町村	21 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	22 市町村が独自に取り組んでいる施策
三春町	<ul style="list-style-type: none"> 希望する小・中学生へ、被ばく線量を測定するためのOSL線量計の貸出しを行っている。 希望する未就学児へ、累積の被ばく線量を測定するための電子ポケット線量計の貸出しを行っている。 希望する妊婦へ、累積の被ばく線量を測定するための高性能線量計の貸出しを行っている。 希望する小・中学生のホールボディカウンタによる外部被ばく線量の測定を行っている。 毎週、保育所・幼稚園・小学校・中学校の校庭等の放射線量の測定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児発達相談「(通称)5歳児健診」 5歳児を対象に、保育所等に出向いて行動観察等を行い、集団生活等で支援を要する児童を把握し、子育ての相談支援を行う ○子育て支援医療費助成事業 <ul style="list-style-type: none"> 18歳までの保険診療分の窓口負担を全額助成する。 ○三春町育児サークル運営補助事業 <ul style="list-style-type: none"> 育児に関する情報交換や子育ての相互協力等を行う地域の育児サークルに対して、運営費を補助する。 ○すくすく赤ちゃん応援事業 <ul style="list-style-type: none"> 育児に係る経済的負担の軽減を図るため、2歳未満までの乳幼児を養育する者に対し、紙おむつ、粉ミルク及びベビーフード商品を購入できるすくすく赤ちゃん応援助成券(＠2,000円×15枚×2年)を支給する。 ○ファミリーサポート相互援助活動費助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートサービスを利用した際の活動費の1/2を補助する。
小野町	・内部被ばく検査	・育児教室 ・ 食育事業 ・2歳児フツ素塗布事業 ・ 3歳児良い歯の表彰
広野町	<p>保育所保育料 被災時より当町に住所を有している者に対し、平成27年度分の保育所利用料は全額免除をしている。また、避難先市町村の認可保育所及び認定こども園内保育所に通園している者に対して、保育所利用料の半額を助成している。</p> <p>幼稚園保育料 東日本大震災に係る被災者で、町長が認める者に係る保育料・入園料・預かり保育料・給食費について全額免除している。また、当町に住所を有し避難先の私立幼稚園に在園する児童の保護者に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金により入園料・保育料の免除または一部免除。</p> <p>週3回広野町保健センターを開放し遊びの場の提供。</p>	
檜葉町	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による被災者に対する保育料保護者負担費助成 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による被災者に対する幼稚園就園奨励費補助 	・高等学校等通学費助成
富岡町	<p>保育料助成事業 住民登録のある児童の保育料について助成。 助成額の上限あり3歳未満 月額52,000円、3歳以上 月額25,500円</p> <p>幼稚園就園奨励費補助 住民登録のある児童の幼稚園奨励費について所得に応じて補助。</p>	
川内村		
大熊町	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する大熊町幼稚園就園奨励費補助 東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する大熊町保育所特例保育所入所措置費負担金助成 	
双葉町	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の入園料以外の利用料を助成 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う被災者に対する双葉町保育料助成事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等入学児童祝金支給事業 ひとり親家庭等で小学校・中学校入学児童を扶養している保護者を対象に祝金(10,000円)を支給。
浪江町	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料助成事業 住民登録がある児童の常時保育料を全額助成 ・子育てサロンの開催(いわき市) ・東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する浪江町幼稚園就園奨励費補助 	
葛尾村		
新地町		
飯舘村	<ul style="list-style-type: none"> ○ まいでいな知の積み立て事業(WBC及び甲状腺検査を年一回受けるごとにスタンプカードに押印し、卒業時ためのスタンプ×10,000円分の図書券を交付) ○ 移動子育てサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言い立て/ババクオータ特別休暇制度(子供が生まれた役場男性職員の子育て研修のための独自休暇制度) ○ 村内企業の子育て休暇制度